

平成18年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：初期環境調査

調査媒体：水質（ng/L）

地方公共団体：横浜市

試料採取機関：横浜市環境創造局環境科学研究所

調査地点：鶴見川亀の子橋（横浜市）

調査対象物質	測定値（評価値）			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[5] インジウム及びその化合物（インジウムとして）	---	---	---	---	1.5
[6] <i>O</i> -エチル= <i>O</i> -2-(イソプロポキシカルボニル)フェニル= <i>N</i> -イソプロピルホスホルアミドチオアート（別名：イソフェンホス）	nd	nd	nd	0.6	2
[15] 2-(4-クロロ-6-エチルアミノ-1,3,5-トリアジン-2-イル)アミノ-2-メチルプロピオノニトリル（別名：シアナジン）	2.5	1.5	1.3	0.4	0.4
[17] <i>O</i> -6-クロロ-3-フェニル-4-ピリダジニル= <i>S-n</i> -オクチル=チオカルボナート（別名：ピリデート）	nd	nd	nd	4	4
[23] 1-(3,5-ジクロロ-2,4-ジフルオロフェニル)-3-(2,6-ジフルオロベンゾイル)尿素（別名：テフルベンズロン）	nd	nd	nd	4	11
[24] 2,4'-ジクロロ- α -(5-ピリミジニル)ベンズヒドリル=アルコール（別名：フェナリモル）	nd	nd	nd	1.8	1.8
[25] 2-(2,4-ジクロロフェニル)-1-(1 <i>H</i> -1,2,4-トリアゾール-1-イル)-2-ヘキサノール（別名：ヘキサコナゾール）	nd	nd	nd	3	6
[28] ジビニルベンゼン	nd	nd	nd	0.6	2
[32] 1,4-ジブロモブタン	nd	nd	nd	1.5	1.5
[33] 1,3-ジブロモプロパン	nd	nd	nd	0.6	0.6
[34] タリウム及びその化合物（タリウムとして）	---	---	---	---	1.7
[38] テルル及びその化合物（テルルとして）	---	---	---	---	19
[41] 1- <i>tert</i> -ブチル-3-(2,6-ジイソプロピル-4-フェノキシフェニル)チオ尿素（別名：ジアフェンチウロン）	nd	nd	nd	20	20
[45] 3-ブロモ-1-プロペン（別名：臭化アリル）	nd	nd	nd	1.8	1.8
[52] メチル=2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート（別名：ピリミノバックメチル）	nd	nd	nd	※※3.7	※※17
[52-1] メチル=(<i>Z</i>)-2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート	nd	nd	nd	2.1	7
[52-2] メチル=(<i>E</i>)-2-(4,6-ジメトキシ-2-ピリミジニルオキシ)-6-[1-(メトキシイミノ)エチル]ベンゾアート	nd	nd	nd	1.6	10
[56] リン酸(<i>Z</i>)-2-クロロ-1-(2,4,5-トリクロロフェニル)ビニル=ジメチル（別名：テトラクロロビニホス又はCVMP）	nd	nd	nd	0.6	1.0

(注1) ---：欠測等（測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体）

(注2) nd：不検出

(注3) ※※は異性体ごとの検出下限値の合計とした。